

道の駅建設など厳しい財政状況も

将来に向け借金返済を選択

12月議会定例会は12月9日から12日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、歳計剰余金を処分するための町債(借金)返済をする補正予算や福島県人事委員会勧告による職員給与の改定、新庁舎の事務機の購入など17議案が提出され、すべて原案どおり可決、承認しました。

一般質問では6人の議員が登壇し、11項目にわたって町政をたどりました。



28年度中の開業を目標に進められている道の駅(イメージ)

平成26年度一般会計 補正予算(第3号・第4号)のおもな内容

【おもな事業】

・町債(借金)返済	1億1000万円
・新庁舎への防災設備移設、情報機器整備	3265万円
・人件費(給与改定分と時間外手当など)の不足分	1697万円
・森林再生事業の事前調査費用	1460万円
・道の駅整備のため職員3人を採用	1221万円
・燃料費や電気料金の高騰による不足分	710万円
・衆議院議員選挙の人件費など	700万円
・観光力づくり事業	668万円
・教科書改訂に対応する教職員指導書購入	546万円
・中学校部活動補助金(県・東北大会出場)	237万円
・公用車の買い替え(2台)	202万円
・災害援助資金返済、イベント補助金など	2256万円
計	2億3962万円

【おもな財源】

・国・県からの補助金(新庁舎建設、森林再生事業など)	1億6149万円
・前年度からの繰越金など	7283万円
・災害援助資金返還、基金(貯金)利子など	530万円
計	2億3962万円

■ 町債(借金)の残高

会計名	25年度末現在	26年度末見込
一般会計	54億7872万円	56億3481万円

■ 財政調整基金(貯金)の残高

会計名	25年度末現在	26年度末見込
一般会計	8億3071万円	8億3160万円

※歳計剰余金とは
前年度の収入から支出を差し引いた残額。その半分以上を基金(貯金)に積みかさねる。繰上償還(借金の期限前返済)に使わなければならない。

一般会計 補正予算

平成26年度補正予算のうち、一般会計は、2億3962万円を増額し、予算総額を14億7275万円とすることを全員賛成で可決しました。

決しました。おもな増額は、歳計剰余金を処分するための町債(借金)返済1億1000万円、新庁舎への防災設備移設や情報機器の整備費用3265万円、職員給与の改定分や時間外手当の不足分1697万円、その財源は、国・県からの補助金や前年度からの繰越金でまかないます。また、公共下水道事業、介護保険の特別会計と水道事業会計の補正予算も全員賛成で可決しました。



質疑

公用車の更新基準は

問

(佐藤定男議員)

公用車の買い替え基準はあるのか。なぜ当初予算で計画しないのか。

総務課長

どの公用車も耐用年数を過ぎて限界ま

まちづくり事業補助金の内容は

問

(松浦常雄議員)

1000年のまち。これから100年のまちづくり事業補助金200万円の内容は。

で使用するため、使えなくなった時点で予算を計上したものの。

燃料費や電気代が増えた理由は

問

(村上晴夫議員)

燃料費や電気料が710万円も増額されている。その理由は。

で使用するため、使えなくなった時点で予算を計上したものの。

観光力づくり事業の内容は

問

(東海林一樹議員)

観光力づくり事業668万円の内容は。

産業振興課長

4月から6月にかけて、全国

のJR各社が本県を対象として一大観光イベントを実施する。これにむけ、阿津賀志山防塁と奥山邸を中心に風評被害の払拭や観光客の誘致を進める。また、スマートフォンを活用した観光PR用ソフトを作成する。

高齢者対策費の減額はなぜか

問

(阿部泰藏議員)

高齢者対策が課題なのに、老人福祉費170万円をなぜ減額するのか。

保健福祉課長

敬老祝金と敬老会事業が終了し、その不用分を減額したものの。

時間外手当の積算があまりいのでは

問

(村上晴夫議員)

業務量の増加に比べて時間外手当の当初予算が少なく、4000万円も補正増をしている。当初予算の積算があまりいのでは。

総務課長

町の財政状況が厳しく基金(貯金)を取り崩して当初予算を作成している。このため、時間外手当は一定水準の金額に

職員手当の見直しは進んでいるのか

問

(村上晴夫議員)

職員の特種勤務手当は6月議会で再開を決定し、3月議会までに見直す状況は。

総務課長

現在、国・県、近隣市町を調査し、内容を確認している。

森林再生事業の内容は

問

(松浦常雄議員)

福島森林再生事業1460万円の内容と委託先は。

産業振興課長

石母田地区での間伐事業の計画作成や調査を福島県北森林組合に委託するもの。

産業振興課長 3月に「春のフードフェスタ」を実施するため、予算を組み替えるもの。

総務課長 電気料金の改定や原油の高騰と、職員の残業による電気代の増加がおもな理由。

なっている。今後はできるだけ実態にあった予算編成を心がけたい。